

## 5. まちづくり推進方策

本地区におけるまちづくりの目標と整備方針に基づいて設定した整備メニューのすべてを実現していくためには、長い期間が必要です。また、これらの中には実現を図る上で地域のみなさんや関係者の方々とともに、具体化するためのさらなる検討が必要となるものもあります。このため、段階的な整備を行うにあたり、当面の取り組み方針と方策を示すとともに、今後のまちづくりについては、この整備構想を基に引き続きみなさんと一緒に考え、進めていきたいと思えます。

### ■ 当面の取り組み方針

- 本地区の抱える最大の課題である交通渋滞解消や、交通結節機能の強化を重点的に進めるため、懸案事項となっている新宇治淀線の整備や、近鉄大久保駅前広場の整備を図ります。
- 交通バリアフリーの推進については、国が定める目標年次である平成22年度を目標に、駅や周辺道路のバリアフリー化を図ります。
- 名木川については、新宇治淀線の整備と合わせて改修事業を実施するとともに、名木川散策道のネットワーク化を図ります。
- まちづくりの目標にあげている「楽しく歩ける歩行空間づくり」に必要となる近鉄大久保駅～JR新田駅間の歩行経路の整備や、駅周辺商業地での楽しく歩ける歩行空間の形成と沿道街なみ景観の充実をはじめ、「魅力ある回遊型商業サービス地の再生」や「地域資源を活かし、地域のニーズに応じた大久保らしいまちづくり」に必要となるさまざまな施策については（仮称）まちづくり協議会など地域の取り組みが不可欠であり、今後は地域のみなさんと協働で検討を進め、具体化したものから順次取り組んでいきます。

